

# NIKKEI DESIGN

D ルネッサンス



## 特集 | タダの引力、紙の腕力

"CMYKメディア" が街を動かす

リポート      デザイン事務所採用実態調査      変わるデザイナーのキャリアパス  
ロードウ イッセイ      ボトルに込めたブランドの遺伝子

デザイナーのための素材加工マニュアル 02      PET? ABS? プラスチック早分かり  
企業サイト戦略構築講座 05      SITE4Dの「コントロールパネル」を徹底分析  
digital graphics experience #5      デザイナー様、XMLへの入り口はこちらです  
ユニバーサルデザイン実験室 第5回      洗剤パッケージの“一生”を総点検

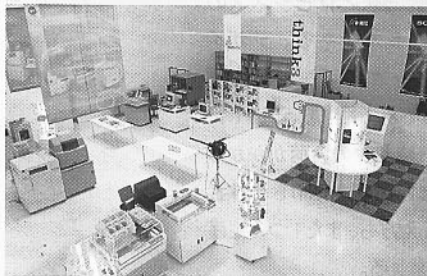
# 3次元デザインの先駆者が語る SolidWorks2003の活用事例

2002年9月20日と10月4日の2回に渡り、筆者の1人である山下健介氏が代表を務めるクリート主催、日経デザイン協力で「プロダクトデザイン構造改革実践セミナー」が開催された。場所は東京都品川区の「3D Show-rooms FORM」。クリートが運営するデザイナー向けの3次元ツールのショールームだ。

2回に分けて行われたこのセミナーのテーマは「SolidWorksで広がるコミュニティと最新版SolidWorks2003の紹介」。この9月にバージョンアップしたソリッドワークス・ジャパンの3次元CAD「SolidWorks2003」をデザインの現場でどう使いこなしていけばいいのか、その秘訣を3次元デザインの先駆者に語ってもらう内容だった。

## デスクトップモデリングを提唱

9月20日に行われた1日目のセミナーには、山下氏とリアルファクトリーの原雄司氏が講



3D Show-Rooms FORM



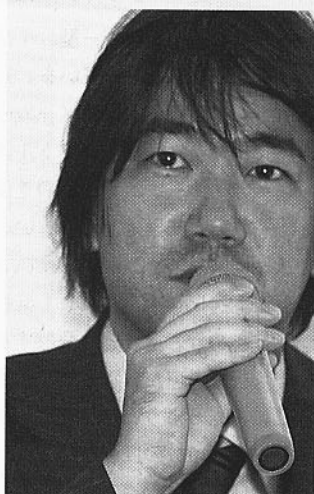
クリートの山下健介氏

演の壇に立った。

山下氏は「デザイナーズ・バリューを高めるSolidWorks」と題して、デザイナーの職域が広がるなかでのSolidWorksを使ったワークフローを紹介。デザイナーの仕事は一体どこまでなのかをデザインマネージャーは見極め、適切な3次元CADの選択を行わなければならないと述べた。

中でも来場者の関心を誘ったのは「SolidWorksをデザインフローの中での入れ物として使えばいい」という山下氏の提案だ。これは、デザイナーの実作業はRhino-cerosなどサーフェスの強いソフトで外形だけを作り、その後のフィレットやボス・リブなどの制作にSolidWorksを使うと言うもの。設計や金型の現場で使われているハイエンドCADとのデータ交換に定評のあるSolidWorksを受け皿にして、異なるCADを使うデザイナー同士、設計や、金型製作者との連携をとっていくと山下氏は訴えた。

次に登壇した原氏は、ソリッドワークスとCraft MILL、そして小型切削機を使った「デスクトップ・モデリング」という新しい考え方を提唱。画面上のモデリングだけでは分からない使用感やスケール感をすぐに理解できるデスクトップモデリングが、モノ作りの工数削減にどのように役立つのか。それを化粧品会社のファンケルやトンボ鉛筆での文房具の



リアルファクトリーの原雄司氏

製作事例とともに紹介した。

その後、ソリッドワークス・ジャパンによるデモをはさみ、金型設計に携る日本デザインエンジニアリングの岩壁清行社長と、デザイナーでサカイデザインアソシエイツの酒井俊彦代表を交えたパネルディスカッションが行われた。「金型設計の場面ではデザイナーからのデータは完全に作り直す」との岩壁氏の発言に酒井代表は「そんなもったいないことをしていたのか」と驚く場面も見られた。

## 情報共有は欠かせない

10月4日に行われた2回目は、まずアイ・シー・アイデザイン研究所の飯田吉秋代表が、3次元デザインでプロダクトデザインの流れがどう変わるかについて解説。素材や廃棄、リサイクルの可能性まで考えたエコデザインを実現するためには製品の初期段階でのデザイナーや設計者、営業、物流を含めた製品ライフサイクルに関わるすべての人がモノ作りの初期段階から情報を共有していかなければならないと主張し、そのためには情報共有の容易な3次元CADの存在は欠かせないとした。

また、飯田氏が見せたSolidWorksを使ったモデリング事例では、ソリッドの形状定義でも、サーフェス並みの形状定義ができる例を紹介し、来場者が固唾を飲んで見守ってい



日本デザインエンジニアリングの岩壁清行社長



講演者全員によるパネルディスカッションも行った



休憩中などには、ショールームの機器を試したり、熱心に話を聞く来場者であふれた

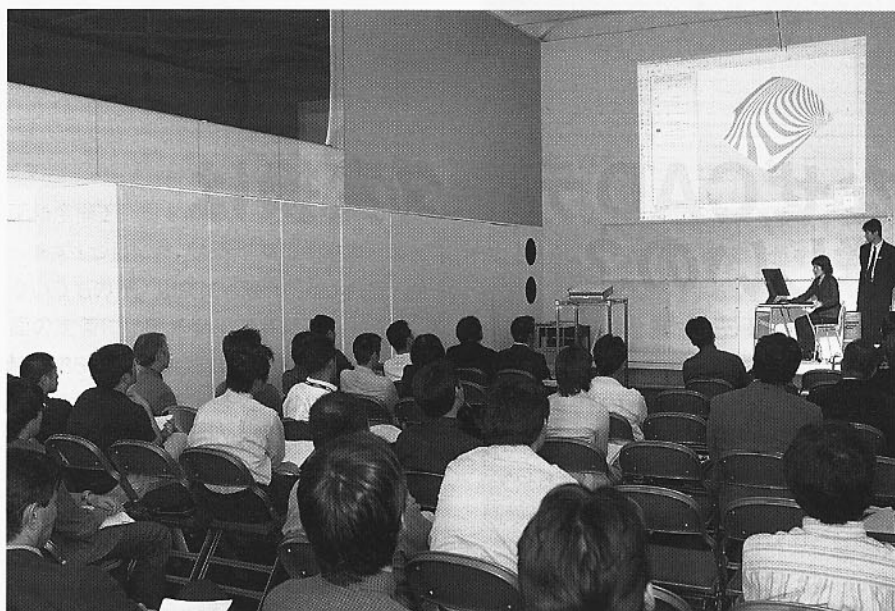
る姿も見られた。

次に、韓国・LG電子とのデザイン業務提携で話題になったデザイン事務所、ジオで3次元CADなどのテクノロジー面を担当する芝幹雄取締役がハイエンドCADとSolidWorksとの連携について語った。

現在ジオのメインCADはUnigraphicsだが、レンダリングやCOSMOS/WorksなどのCAE、データ交換など個別の機能のコス



サカイデザインアソシエイトの酒井俊彦代表



SolidWorks 2003の新機能デモに聞き入る来場者

トパフォーマンスの面ではSolidWorksが有利と発言。3次元CADの特性に合わせて、さまざまなCADを使い分けていくのもデザイン事務所として効率的に3次元CADを使う1つの方法だと述べた。

今回、セミナーの行われたFORMでは、SolidWorksを初めとするデザイナー向け3次元CADや各種RP装置、3次元スキャナーなどの展示も行っている。休憩時間やセミナー



アイ・シー・アイデザイン研究所の飯田吉秋代表

終了後など、こうしたツールの説明を熱心に聞く来場者や、実際に無料体験セミナーはできないかなどの要望も聞かれるなど、会場は熱気に包まれていた。

11月29日RhinoCerosを題材に「プロダクトデザイン構造改革実践セミナーVol.2」の実施が決定！申し込みは10月31日から（詳細は[www.3ds-form.com](http://www.3ds-form.com)にて）。



ジオの芝幹雄取締役